陸災防神奈川県支部 労災情報(R4.4)

神奈川県内の 陸運業の労災

労災事故はさらに増加しています。

☆死傷災害は30名(3.8%)増加し812名となっています。

Safe WOT KANAGAWA

令和3年12月末 の確定値 神奈川労働局の集計によると、令和3年12月末(1月1日から12月31日)における 県内の陸運業の労働災害発生は令和2年同期と比較し次のとおりとなっています。

用語の説明は支部ホームページ参照!

◇ 死傷災害は 道路貨物運送業では30名(+3.8%)増加

陸上貨物取扱業では78名(+29.8%)増加となり、両業種を合計した 陸上貨物運送業全体では108名(+10.3%)増加の1,152名となっています。

◇ 死亡災害は 道路貨物運送業で2件(コロナ関連、過重労働関連)発生しています。

死傷災害とは、死亡災害と4日以上の休業災害を合計したものです。

1. 概 況(神奈川県内)道路貨物運送業・・・(事故の型ワースト6+交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動 (腰痛等)	転倒	はさまれ・ 巻き込まれ	交通事故	激突	激突され	その他	合 計
発 生 件 数	2 4 5	167	1 2 8	6 0	4 6	4 2	3 4	9 0	8 1 2
対前年増減	+ 3 2	+19	-10	– 1	-12	-8	+ 2	+8	+30
同上増減率	+15.0%	+12.8%	-7. 2%	-1.6%	-20. 7%	-16.0%	+6.3%	+9.8%	+3.8%

陸上貨物運送業全体



陸上貨物運送業全体の発生状況

基本操作・ 行動の励行を!

◎ 死傷災害

- ① 墜落・転落災害が 16.1%増加し281 名となった。
- ②腰痛等の動作の反動が28.0%増加し270名となった。
- ③ 転倒災害は4.0%増加し210名となった。

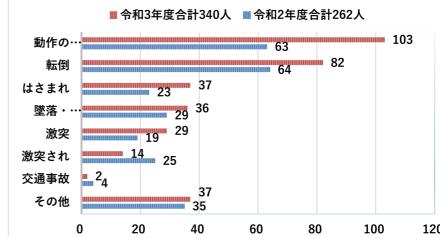
荷役作業を中心にあらゆる対策を講じて 労災事故を撲滅しましょう

2. 各業種の概要



- ☆ 1 昨年同期に比べ+3.8%(+30名)増加して812名となっている。
- ☆2 墜落・転落が+15.0%(+32名)増加している。
- ☆3 腰痛等の動作の反動が+12.8%(+19名)増加している。

陸上貨物取扱業(貨物利用運送業等)



- ※1 昨年同期に比べ+29.8%(+78名)増加して340名となった。
- ※2 腰痛等の動作の反動が+63.5%(+40名)と大幅増加している。
- ※3 転倒災害が+28.1%(+18名)増加している。

3. 死亡災害発生概要(陸上貨物運送事業関係)

陸災防神奈川県支部収集

番号	発生地	年月日 曜 日 時 刻	事業の種別 労働者数 職 種	起 因 物 事故の型	発生概要
1 -		3. 1. —	道路貨物 運送業	その他の 起因物	事業場内の集団感染により新型コロナウィルス感染症にり患し 70 代の従業員が死亡した。
		21 時頃	10~29 名 -	その他	
2 –		3. 5. —	道路貨物 運送業	起因物なし	深夜、配送途中に給油と洗車のため立ち寄ったガソリンスタンドで 40代後半の被災者が倒れているところを店員に発見されたもので、
		3 時頃	30~49 名 運転者	その他	被災前に1か月の平均で80時間を超える残業をしていた等、長時間労働による過重な業務に従事していたと認められたもの。

